

子どもをたくさんの友達と遊ばせたい、子育ての悩みを聞いてほしい、子育てに関する情報がほしいなど、毎日子育てに奮闘中のお母さんが集う「ぼこぼこくらぶ」を、市内で活動する子育て支援グループのグローアップなどが八木保健福祉センターに開設されました。この日は、オープニングイベントとして「ぼぼたん」のミニコンサートが開催されたほか、スタッフの指導の下、ベビーマッサージが行われました。お母さんにマッサージをしてもらい気持ち良さそうに笑う子や元気に走り回る子、そんな子どもたちを抱きしめスキンシップを取るお母さん。部屋の中は幸せな空気がいっぱいになりました。



▲ベビーマッサージでスキンシップ

「母も子ども友達と一緒にリフレッシュ」

(9/15 子育て応援ひろば「ぼこぼこくらぶ」オープン)

みんなのひろば

まちの話題を紹介します



▲狂言「飛越」 相撲を取る新発意(右)と男(左)

10回目となる能楽の夕べ「美山かやぶき新能」が美山かやぶき美術館で開催。約350人の観客がかやぶき屋根をバックに上演された狂言「飛越」と能「海士」に酔いしれました。開演前には、夏休みから能楽師・青木道喜さんの指導を受けた小学生11人が能を披露。武田昂大君(宮島小4年)は「お客さんがいっぱい緊張したけれど、教えてもらったことをしっかり発表できました」と感想を話してくれました。

また、子どもたちは9月23日に京都観世会館で開催された青木社中発表会に招待され、本物の能舞台を経験しました。



▲京都観世会館で能「幻象」「狸々」「鶴亀」を披露する子どもたち

「かやぶき民家と伝統芸能のコラボ」

(9/18 第10回能楽の夕べ「美山かやぶき新能」)

「たわわに実った稲 懐かしの稲木干し」

(9/19 なんとん・わくわくキッズ「稲刈り体験」)



▲北井さん(右)の指導で丁寧に稲を刈る児童

自然環境の中でのさまざまな体験を通して、感性を育み、ものを深く見つめる力を培う活動を行う「なんとん・わくわくキッズ」の稲刈り体験とブーメラン作りを旧五ヶ荘小学校周辺で実施し、市内の小学5・6年生14人が参加しました。稲刈りは北井嘉辰さんの指導で、たわわに実った稲穂を1株1株鎌で刈り取り「稲木干し」に。児童らは「ザクッと一発で刈れたのが気持ちよかった」「ご飯をもっとありがたくいただきます」と農業体験を楽しみ、自分の生活を見つめ直していました。